第43回　通常総会資料

令和元年6月12日（水）

名古屋市中村区椿町6－9
名鉄ニューグランドホテル　7階
TEL　052-452-5511（代表）

全日本プラスチックリサイクル工業会

愛知県一宮市伝法寺一丁目9番地8
TEL　0568－77－4033

総会次第

1. 開会宣言

2. 会長挨拶

3. 総会成立宣言

4. 議長選出

5. 議事

1）第1号議案　平成30年度事業報告及び決算関係書類承認（監査報告）(P5.6)
2）第2号議案　令和元年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件について(P7.8)
3）第3号議案　経費の賦課金徴収方法決定の件(案)について
4）第4号議案　定款第16条の変更(案)について
5）第5号議案　当工業会への新規加入について
6）第6号議案　CFP 委員会の役員変更と会計報告、事業計画(案)について
7）第7号議案　役員改選(案)について （新会長挨拶）
8）その他　リサイクル推進協議会の表彰について

6. 来賓祝辞　経済産業省製造産業局　素材産業課　課長補佐　飯塚康太様
プラスチック循環利用協会　専務理事　井田久雄様

7. 万歳三唱

8. 閉会のことば

環境講演会

演題「サーキュラーエコノミーとプラスチックリサイクルの深い関係と将来の展望」

1. 開会のことば
2. 講師紹介
3. 講演（約50分間）
4. 講師お礼及び挨拶
5. 閉会のことば

懇親パーティー

1. 会長挨拶
2. 来賓祝辞
3. 乾　杯
4. 中　〆

第１号議案
平成 30 年度事業報告書

自　平成 30 年 5 月 1 日
至　平成 31 年 4 月 30 日

概況

平成 30 年度の概況は、米国のトランプ政権の通商政策に一喜一憂しながらも、堅調な米国経済を背景に、FRB（米連邦準備理事会）による段階的な政策金利の引き上げが続き、日米株式市場は大きく揺れました。しかし先進国の景気拡大は続いており、戦後最長を達成しております。地域経済においても、輸出や設備投資の増大に伴い、生産活動が堅調に推移するなど、景気は拡大基調を辿りました。しかしながら人手不足感が一段と高まり、外国人の働きやすさを改善することによる労働者の補てんや人工知能活用等による人に成り代わる知的労働者の確保が要求されるようになっています。

我が業界に於いては、年度の後半ごろから、オレフィン系を始めとし、原油は値戻しするも、ナフサが上昇に転ずることなく、値下げ圧力が強まっています。中国のナショナルソード（廃プラ輸入規制）で、比較的緩やかに規制していた、東南アジアの各国も規制が一段と厳しくなり、行き場を無くした廃プラが山積にされ、処理業者も処理価格の高騰が止まらない状況が続いています。比較的市況の影響の少ない高度化された再生樹脂の製造へのシフトが必要なようです。自社の技術をさらに伸長させて持続可能な社会形成のための一翼を、工業会の会員と協業しながら、しっかりとその役割を担っていきたいと考えております。

2. 会員の異動　　平成31年4月末現在

区分 / 会員	30年5月	1年5月	増	減	摘要
関東ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾘｻｲｸﾙ協同組合	52	53	2	1	
東日本ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ再生協同組合	25	24	0	1	
愛知県ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾘｻｲｸﾙ協同組合	30	31	1	0	
北陸合成樹脂商工会	4	4	0	0	
京滋ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾘｻｲｸﾙ工業会	10	9	0	1	
関西ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾘｻｲｸﾙ商工会	15	15	0	0	
九州ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾘｻｲｸﾙ工業会	10	10	0	0	
個人会員	3	3	0	0	
合計	149	149	3	3	

※特殊な賛助会員（金網、紙袋等共同購買会社）は、除外します。

3. 会議開催状況

(1)総会

イ. 開催日時　　平成30年6月12日(火)　14:00より

ロ. 開催場所　　名鉄ニューグランドホテル　7階

ハ. 出席者数　　37名(本人出席24名及び委任状13名)／総数45名

ニ. 議事の経過及び議決の結果

平成29年度事業報告及び決算を承認したあと、平成30年度事業計画(案)及び予算(案)を議決した。そして、経費の賦課金徴収方法、役員改選を議決した。

(2)第1回常任理事会

イ. 開催日時　　平成30年6月12日(火)　11:00より

ロ. 開催場所　　名鉄ニューグランドホテル　7階

ハ. 出席者数　　17名(本人出席17名)+事務局2名／総数19名

ニ. 協議事項

1. 第42回通常総会,環境講演会、懇親パーティーの役割分担について
2. 平成29年度事業報告、決算報告及び平成30年度事業計画(案)、予算(案)の審議について
3. カーボンフットプリント(CFP)活動報告について
4. 日本合成樹脂有効利用組合脱退について
5. リサイクル推進協議会の表彰について
7. 市況分析・その他

(株)ニシキからの常任理事名簿変更についてのお願い。

(3)講演会

イ. 開催日時　　平成30年6月12日(火)　14:00より

ロ. 開催場所　　名鉄ニューグランドホテル　7階

ハ. 出席者数　　41名

演題『「SDGs」2030 年をスコープした企業経営戦略！！』

講師　一般社団法人産業環境管理協会

地域・産業支援部門　副部長　壁谷武久様

(4)第2回常任理事会

イ. 開催日時　　平成30年11月8日(木)　13:30より

ロ. 開催場所　　工場見学　　(株)近江物産　　13:30～

常任理事会　　栗東商工会館　　16:00～

ハ. 出席者数　　16名(本人出席16名)+事務局1名／総数17名

ニ. 協議事項

1. 役員改選について
2. CFP について

ABS、PS、PP コンパウンド

JPRA の CFP の事務担当　　(株)こみでん　継続

3. 市況分析

(5)第3回常任理事会

イ. 開催日時　　平成31年3月6日(水)　14:00より

ロ. 開催場所　　名鉄グランドホテル　11階

ハ. 出席者数　　14名(本人出席14名)+事務局2名／総数16名

ニ. 協議事項

1. 役員改選について
2. 第43回通常総会〔事業報告、決算報告及び事業計画(案)・予算(案)〕及び懇親会について
3. カーボンフットプリント(CFP)について
4. リサイクル推進協議会の表彰について
5. 市況分析・その他

会計監査報告書

平成30年度決算報告について厳正に監査した結果、別紙収支報告の通り間違いないことを報告いたします。

令和元年6月3日

全日本プラスチックリサイクル工業会

監事 原 雄孝文 ㊞

第２号議案
令和元年度　事業計画書

自　平成 31 年 4 月 1 日
至　令和 2 年 3 月 31 日

基本方針

中国とアメリカの貿易政策による衝突が激化するなか、中国の自動車生産は年末には前年比２０%を切り、急速に減少しました。この現象は他の製品にも暫くの期間は追随して起こり得て、ある程度の供給過剰があり、材料は値下がりの局面を迎えて参ります。再生業界にも逆境に見えますが、国内に目を向けますと、本年 6 月に大阪で G２０が開催されます。そこでは、中国の廃プラ輸入規制で残った廃プラの処理、リサイクルそして海洋ゴミの流出防止策・処理などに高い技術をもつ日本が、世界に「プラスチックスマート」戦略として解決策を世界に向けて発信していきます。我々工業会のリサイクルプラの 60 年の歴史そして、更に拡大していく、CFP の成果もこの戦略に役立つものと確信しております。皆さんと協業しながら理恵を出しあい、生成発展して参りたいと考えます。

2.　事業計画

（１）組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性化を図る。

（２）広報宣伝活動

業界紙に広告を掲載する。
ホームページを活用する。
CFP コーナーを平成２９年７月に開設

（３）教育情報、調査研究活動

①組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性を図る。

②業界懇親会開催

業界の現況、今後の見通し及び当面する諸問題（特に環境・リサイクル関連）について情報交換を行い、検討・協議するため懇親会を開催する。

③関係団体等開催の講習会への参加

（４）CFP において既に取得済の PP・PE 以外での PS、ABS、PP コンパウンドの３アイテムで取得する。

（５）関係官庁団体との連携

経済産業省　製造産業局素材産業課
環境省　大臣官房　廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室
日本プラスチック工業連盟
（一社）産業環境管理協会
（一社）プラスチック循環利用協会
日本プラスチック有効利用組合
中国国家質量検験検疫総局

第3号議案　経費の賦課金徴収方法決定の件（案）

※定款第12条

・本会は、その行う事業の費用（使用料又は、手数料をもって充てるべきものを除く）に充てるための会員に経費を賦課することができる。

・前項の経費の額、その徴収の時期及び方法その他必要な事項は、総会において定める。

※会費　金7，000円／一社　※時期－総会後3ヶ月以内

※方法は振込手数料を差し引かない。個人会員は除き各団体単位。

第4号議案　定款第16条の変更(案)について

（会長、副会長及び専務理事）

第16条　1．常任理事のうち1人を会長、2人を副会長、1人を専務理事とし常任理事会において選任する。

（案）現行　2人を副会長　　変更後　3人以下を副会長

第5号議案　当工業会への新規加入について

*団体名　一般社団法人全国塩ビ管・継手リサイクル協会

事務局　〒581－0842

大阪府八尾市福万寺町6丁目21番地1号

日進化学工業株式会社

TEL．072－924－2205

代表取締役　山内義文

会員　設立当時6社であるが、今現在2社である。（4社脱会したようである）

※日進化学工業（株）・（株）ミズカ　6/3(月)山内社長さんに電話で確認した。

＊団体名　EPP協同組合

事務局　〒160－0004

東京都新宿区四谷4丁目31番地　四谷TSビル6階

理事長　株式会社肇英（ちょうえい）　代表取締役　川副　哲

TEL．03－5919－4380　FAX．03－5919－4388

事務局長　船木邦康〔（株）ファー・イースト・ネットワーク内〕

TEL．03－6273－0772

会員　6社

※6/3(月)船木さんに電話で確認した。

役員定数算出基準

	定数	常任理事	理事
会員 20 名未満	５名	２名	３名
〃20 名以上 40 名未満	８名	３名	５名
〃40 名以上 60 名未満	１０名	４名	６名
〃60 名以上	１２名	４名	８名

第6号議案　CFP 委員会の役員の変更と会計報告、事業計画(案)について

	現行		改選後	
CFP 委員長	(関東)	石塚勝一	(関東)	進藤　浩
CFP 副委員長	(関東)	進藤　浩	(愛知)	磯野正幸
CFP 副委員長	(愛知)	磯野正幸	(九州)	小池真司

○事業計画

CFP において既に取得済のPP・PE以外でのPS・ABS・PPコンパウンドの3アイテムを取得する。

第7号議案　役員改選(案)について

現行			改選後		
会長	(愛知)	植田常幸	会長	(関東)	石塚勝一
副会長	(関東)	石塚勝一	副会長	(愛知)	磯野正幸
副会長	(東日本)	中村昌仁	副会長	(東日本)	中村昌仁
			副会長	(九州)	小池真司
専務理事	(愛知)	磯野正幸	専務理事	(関東)	宇田川初夫
監事	(九州)	原槙孝文	監事	(北陸)	武田大輔
監事	(関西)	二井　真	監事	(関西)	二井　真
相談役	(九州)	江上幸隆	相談役	(九州)	江上幸隆
相談役	(関東)	進藤善夫	相談役	(関東)	進藤善夫
相談役	(関東)	大塚一郎	相談役	(関東)	大塚一郎
			相談役	(愛知)	植田常幸
事務局	(愛知)	杉浦光行	事務局	(関東)	進藤　浩
	(愛知)	浅野　真		(関東)	菊池慎吾

8. その他

イ)リサイクル推進協議会について

ブロックによって会員数が異なるため、公平性という立場から五つのグループに再編し、そのグループ中で協議してもらい推薦する。

平成31年4月末現在

年度	グループ	各ブロック名(会員数・・・多少増減はあります)
H30年度	A	関東プラスチック(53社)
令和元年度	B	東日本プラスチック(24社)
令和2年度	C	愛知県プラスチック(31社)
令和3年度	D	北陸合成(4社). 九州プラスチック(10 社). 個人会員(3社)
令和4年度	E	関西プラスチック(15社). 京滋プラスチック(9社)

計149社

グループの動き(A→B→C→D→E)

令和元年度 Bグループ 東日本プラスチック再生協同組合(24社)

会社名〔(株)ミヤギコーポレーション〕 社長名〔中山晃一社長〕

令和2年度Cグループ 愛知県プラスチックリサイクル協同組合(31社)

会社名〔永興物産(株)〕 社長名〔植田常幸社長〕

ロ)市況分析